

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月1日				
放課後等デイサービスTA-TA						
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準よりも広いスペースを確保していたり個々に合わせて活動できるスペースがあったりと、子どもたちにとって過ごしやすくなっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国が定める基準よりも多く職員を配置できており、子どもたちに合わせた活動に取り組むことができています。	研修や日々の支援を通して、もっと専門性を高めていきたいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事務所が1階にあり大きな段差もないため、負担なく通所していただくことが可能になっています。	大きな段差はないですが低い段差があり、車椅子や身体が動きづらい子どもに対してのバリアフリー化は完全にはできていません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で心地よく過ごしてもらうために毎日清掃を行っており、安全に身体を動かされるようにジョイントマットも敷いて環境整備を行っています。	定期的にジョイントマットの張替えを行っています。全体的に衛生面ももっと意識できるように取り組んでいきたいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別課題や集中して活動をした時、クールダウンをする時など、状況に応じて個別の部屋を使用して対応をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフ同士で話し合う機会を設けて一人ひとりに合った目標設定を行い、振り返りを行うように取り組んでいます。	ミーティングを行う等の努力はしていますが、完全にできているとは言えないかもしれません。今後意識して取り組んでいきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の方の意向等を把握できるように面談等を実施しており、そのことについての話し合いを行い、業務改善に繋げられるように意識しています。	保護者の方のニーズや思いをしっかりと共有させていただき、思いに寄り添った支援が行えるように今後も努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフの意見や思い等を把握できるように支援者のミーティングや定期会議で話し合いを行い、業務改善に繋げられるように意識しています。	誰でも発言しやすい雰囲気づくりを意識して、スタッフ間でもっと積極的に意見交換ができるようにしていきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は取り組めていませんが、今後導入できるように検討していきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修等の情報提供や参加を促し、積極的に参加できるように時間も確保しており、日々向上している体制を取ることができています。	事業所としても研修案内を積極的に行い、研修受講が気軽なにできる体制をつくっていきたいです。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表を行っています。必要に応じて変更して更新していく予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		見学や面談などの際に保護者面談を行ってニーズの把握等をして計画書の作成を行っています。また、個別支援計画作成会議を行い、スタッフで検討する時間を設けています。	アセスメントを行うスタッフの考え等が偏って作成されないように、意見交換をしっかりと行い、客観的な視点から作成されるように意識していきたいです。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフで会議を行う中で子どもの視点にたって考えながら意見交換をしており、共通理解の下で計画を作成をしています。	子ども達の思い等、日頃の関りを通してその思いが代弁できるように意識していきたいです。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画作成後にスタッフ間で共有をして支援を行うように意識しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		5領域を意識したアセスメントが行えるように様式を変更しています。計画更新の際には再度アセスメントを見直し、日々の行動観察が反映されるように確認しています。	もっと子ども達のアセスメントに適したフォーマットがないか、調べながら必要に応じて変更していきたいです。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		法改正に伴い、放課後等デイサービスガイドラインの読み合わせを行っています。各支援については5領域の関連付けを行いながら、一人ひとりに合わせた支援内容の設定が行われています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		子どもたちの意見を優先しながらスタッフ間で話し合い、子どもたちが主体となって参加できるプログラムの立案ができるように努めています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもたちの意見を聞いたり季節の行事を取り入れたり、スタッフ間でも意見を出し話し合いを重ねて、プログラムが固定化しないように努めています。	少しマンネリ化してきている感もあるため、もう少し工夫を行いながら取り組んでいきたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの特性や状況に合わせた支援を考え、個別活動を集団活動が相互関係であるように計画を作成し、共有を図っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1日の流れや役割分担等を話し合う時間を設けています。特変があった際や共有すべきことがあった際にはすぐに連絡を取って共有を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎などで時間が合わないことが多いため、次の日にミーティングを行ったり、特変があった際にはその日に連絡を取ったりして共有を図っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の記録は全職員でいつでも閲覧、共有できるようにしており、ミーティングなどでも振り返りを行い話し合う時間を設けています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも半年に1回モニタリングを実施して子どもたちの状況を確認しており、スタッフ間でも協議して個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		定期的に読み合わせを行い、意識して支援を提供できるように努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもたちに活動を押し付けることはせず、子ども会議や自分たちの意見を言う場を設けて、子どもたちが主体となって活動を決定できるような取り組みを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加できるようにしており、また、保護者の方や学校の先生が参加できる際は参加をして、様々な方面から子どもを見て詳しく話し合いをしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		特に教育機関との連携を強化できるように意識しています。電話等での連携のみでなく直接訪問をして、その都度子どもに必要な支援を共有し、子どもの今後に活かせるような支援を考え行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有部分では学校によって差異があります。下校時間は配布されるプリントで確認し、急な変更の際には直接連絡をしてもらっています。送迎の際には積極的にコミュニケーションを図るように意識しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて情報共有を行えるように意識している。	保育所、児童発達支援等の連携は今まではできておらず、保護者の方からの情報を伺っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談員の方や学校等を通して情報共有をしており、卒業後も安心して障害福祉サービスが利用できるように意識しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在は取り組めていませんが、今後導入できるように検討していきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園で地域の子どもや児童クラブの児童との関わりがもてており、一緒に活動をして子どもたちのコミュニケーションを取られるように図っています。	今後は一緒に地域の行事等にも参加をしたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		開催される会議には必ず出ており、その中で他の事業所や行政との交流を深められていると思います。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃から送迎時や連絡ツールを利用して子どもの状況を伝えており、特変があった際にはすぐに連絡を取り情報共有を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の方への助言などを適切な行えるように知識や技術の習得に努めています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際や問い合わせがあった際に説明を行っています。契約後いつでも答えることができるように意識しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		主にはモニタリングの際に意向の確認を行っていますが、日々の生活の中でも子どもや家族の方の意向が伺えるように確認を行っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の作成後に支援内容等を保護者の方に確認してもらい、ご本人たちが安心して過ごせられるように納得をしていただいてから署名をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の方への助言などを適切な行えるように知識や技術の習得に努めており、ご相談があった際にはその都度お時間をいただき話し合う時間を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在行うことができていません。保護者の方の要望等も確認しながら今後も検討していき、保護者の方やご兄弟も携わることができる活動をしていけたらと思ひ話し合っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		マニュアルに基づき対応しています。また、常に保護者の方からの意見を聞き、スタッフ間で共有をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事予定表を毎月作成して配布したり、ラインを用いて子どもたちの活動概要の連絡や情報の交換をしたりしています。	Instagramを用いてより外部に活動の発信をしていくことが今後の課題と考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きのロッカーで保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日常の会話や大切な内容を伝える際には、子どもや保護者の方に分かりやすい伝達方法を意識しながら伝えるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントで夏祭りをした際に、地域に開く形で行うことができました。	今回は事業所に関係している方の参加となったので、今後はもう少し地域に開いた形での開催を目指しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約の際やお問い合わせがあった際に説明を行っており、スタッフ間でも共有し、日頃の活動の際にすぐに対処できるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP計画は年に1回の見直し、訓練を行っており、避難訓練は年に3回行えるように努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		主に契約時やモニタリングの際に状況の確認を行うように意識しており、保護者の方から服薬、発作等の情報を教えていただいた際にはすぐにスタッフ間で共有を図っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーについては契約時に確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、各研修を行い、日々の安全点検等もチェックリストを基に行えるように取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		現在はまだ行っていないため、年度末頃に周知を行う予定です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な事例があった際にスタッフ間で共有し、話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開催し、研修の確保や日々の支援においてチェックリストを使用し確認しており、虐待に関する認識をスタッフ間で確認し合っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		現在は身体拘束が必要な児童はいませんが今後必要になってくる可能性もあるため、事業所全体で協議し、検討していきたいです。	